

令和6年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧(北アルプス地域)

No	事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 (円)	うち支援金 (円)	講評
1	大町市内観光周遊促進事業	大町市	北アルプス国際芸術祭2024に合わせ、市内周遊バスを運行。若一王子神社・霊松寺で夜間ライトアップを実施し、霊松寺では日展工芸作家展も開催。観光資源の認知度向上と回遊性の促進を図る。 ①ライトアップ設営(1,793千円)、警備代(268千円)、広報用ポスター(75千円)、周遊バス運行(11,880千円)	14,014,340	3,600,000	夜間ライトアップとして若一王子神社、霊松寺で夜間ライトアップを行いました。また、霊松寺においては、日展工芸作家展を同時開催しました。さらに北アルプス国際芸術祭2024に合わせて、市内周遊バスを運行しました。今後も年間を通じた誘客と回遊性向上につながることを期待します。
2	大町市SDGs学習旅行誘致協議会事業	大町市SDGs学習旅行誘致協議会	近年の学習旅行は探求学習やSDGsに関連したプログラムに変遷してきており、大町市においても、水やエネルギー等の観光資源を活用した探求学習プログラムを作成した。プログラムのさらなる磨き上げを地域住民と共に取り組む。 ①SDGsガイド研修(27千円)、市民見学会(38千円)、モニターツアー(1,076千円)	1,487,372	1,078,000	SDGs探究学習プログラムの活用による滞在型の学習旅行獲得を推進するため、SDGsガイド研修や市民見学会、モニターツアーを実施しました。受入態勢整備を進めるとともに、継続的な周知活動が続けることで学習旅行受入増に繋がることを期待します。
3	ぼくらの市民活動プロジェクト	ぼくらの市民活動プロジェクト実行委員会	大北地域で活動している団体を対象に講座の開催やマルシェの場を提供することにより、団体のPRや団体同士のつながりを創出し、活動の広がりや事業の継続につなげる。 ①マルシェ開催(583千円)、講座開催(116千円)	699,057	499,000	団体同士の交流の機会を提供するため講座を開催しました。また、団体の活動内容の発表や展示販売などを行うマルシェを開催しました。団体同士のつながりや連携が生まれることにより、各団体が持続的に市民活動に取り組めることを期待します。
4	北アルプス・思いやり防災キャラバン	日本防災士会 長野県支部	小・中学校や特別支援学校での出前授業、防災講座、避難所体験を通じて、児童・保護者・地域住民が防災について学ぶ機会を提供することで、防災力向上につなげる。 ①出前授業、講演会、防災講座、避難所体験 (38千円)	382,345	305,000	児童・保護者・教職員が防災について考える機会となる出前授業を小・中学校や特別支援学校で開催しました。さらに地域全体の防災意識向上につながる防災講座や避難所体験を公民館で開催しました。様々な体験・学習を継続することで安心して生活できる地域づくりに繋がることを期待します。
5	鹿島川左岸堤防遊歩道整備事業	はなみフラワーズ	鹿島川左岸堤防は北アルプスの眺めが良く、観光客等が鹿島川の清流と北アルプスの山並みを撮影しており、観光資源として活用が期待できるため、昨年度に引き続き、遊歩道を整備する。 ②遊歩道整備、ベンチ等材料代等(2,365千円)	2,365,000	1,773,000	鹿島川左岸堤防に、堤防からの眺めを楽しめるよう遊歩道を整備しました。遊歩道には、地域住民や近隣の小中学生にも参加を呼びかけ、テーブル、椅子等を設置しました。今後も地域住民等と協力して遊歩道を整備し、遊歩道をイベント等で広く活用することで、来訪者の増加や地域の活性化につながることを期待します。
6	シバザクラの公園を散策する見学者に憩いの場所を提供する事業	白塩町河川公園愛護会	春の観光スポットである白塩町河川公園を地域住民や観光客憩いの場にするため、ベンチを設置し、散策者の利便性向上を図る。 ②ベンチ設置(421千円)	421,740	316,000	春にシバザクラを見にくる方が多い白塩町河川公園にコンクリート製ベンチを3基設置しました。今後も河川整備を継続し、来訪者が増加することを期待します。
7	安曇野アートラインを巡り、AR(拡張現実)を体験しよう	安曇野アートライン推進協議会	北アルプス国際芸術祭2024の開催期間に合わせ、加盟館でAR作品を制作・展示し、観光客の周遊促進と地域住民の芸術文化への理解促進を図る。 ①AR制作費等(390千円)、チラシ・ポスター制作等(212千円)	602,616	456,000	北アルプス国際芸術祭と連携し、AR作品を制作し、展示しました。AR技術を活用した新たな観光資源として、今後の地域文化振興や観光活性化につながることを期待します。

No	事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 (円)	うち支援金 (円)	講評
9	地域六事業産業化推進事業	一般社団法人地域づくり美麻	少子化や人口減少等により、美麻地域の担い手が減少している中、地域住民の主体的な行動により、地域課題(若者交流人口獲得・定着)の解決や集落機能の維持向上を目指す。 ①古民家リビルディング事業(1,593千円)、交流人口獲得イベント(208千円)、ドッグラン整備等(95千円)	1,896,528	1,485,000	移住希望者向けに居住可能な住宅が不足しているため、活用予定のない空き家を利用可能な宅地とするために解体作業を行いました。 また、交流人口を増やすため、ワークショップや鹿革デザインコンテストを開催しました。 整備後の宅地の活用により地域課題の解決に期待します。
10	大町市コメ輸出プロジェクト事業	コメ輸出プロジェクトチーム	香港での信濃大町産のコメのPR、ロンドンでの商談や市場調査、輸出事業者との意見交換、有機米研修会を実施し、信濃大町産コメの輸出体制の整備と販路開拓を図る。 ①香港でのPR事業(2,602千円)、ロンドンでの商談等販売促進事業(1,669千円)、輸出研修事業(253千円)	4,524,400	1,136,000	信濃大町産のコメの輸出量の拡大や販路開拓のため、ロンドンにおいてコメの生産者自らが商談をしました。 また、有機米研修会を通じて生産者の知識向上を図りました。 輸出体制の強化と安定的な輸出品の確保につながることを期待します。
11	自然からの贈りもの「ジビエ」普及事業	特定非営利活動法人美麻ジビエ振興会	冷凍設備の更新、ジビエ料理講座、美麻小中学校での食育講義・解体体験、鹿革クラフト教室への協力などを通じて、ジビエの普及と有害鳥獣問題の啓発を図る。 ①食育講義(5千円)、ジビエ料理講座(110千円) ②冷凍設備更新(2,200千円)	2,314,453	1,181,000	冷凍設備更新による捕獲個体の受入増と、料理教室や学校での体験を通じてジビエ普及と有害鳥獣問題の啓発を実施しました。 引き続き、ジビエ普及活動を実施し、地域課題である有害鳥獣被害の理解促進に期待します。
12	「水」を起点とした地域ブランド振興事業	信濃おおまち みずのわプロジェクト	大町市の魅力あふれる地域資源を統合的につなげたブランドイメージの発信を行うため、「水」に着目し、市街地の水巡りマップ作成、新たな特産品かき氷とカクテルのPR、パネル展などを通じて地域ブランドの振興と市民・来訪者への啓発を図る。 ①マップ作成等(1,727千円)、特産品PR(168千円)、デジタルアーカイブ化(407千円)	2,301,750	1,206,000	大町市の地域資源である「水」を起点とした地域ブランドの確立に向けて、水に焦点を当てたイベントや特産品のPRを実施しました。 水を起点とした魅力が市民へ啓発普及されることで、大町市のブランドイメージの向上に繋がることに期待します。
13	信州の地酒で乾杯『SAKEフェスタ』	一般社団法人池田町観光協会	地酒と地場産食材を楽しむイベントを開催し、池田町特産品である醸造酒(日本酒・ワイン)の認知度向上・需要喚起・販路拡大を図る。 ①広告宣言費(1,155千円)、会場設営費(1,101千円)、開催運営費(1,533千円)	3,788,550	1,320,000	特産品の醸造酒の認知度向上と販路拡大のために、特産品である酒類を食事や音楽とともに楽しむイベントを開催しました。 池田町の魅力を発信することで、ブランド力が向上されることに期待します。
14	信州池田町サイクルロゲイニング2024	一般社団法人池田町観光協会	池田町、松川村、大町市及び安曇野市を巡るサイクルロゲイニングを開催し、サイクルツーリズムを通じて交流人口の拡大を図る。 ①広告宣伝費(396千円)、参加案内・参加賞等(89千円)、運営業務委託料(680千円)	1,165,322	853,000	サイクルツーリズムの推進を通じ、交流人口の拡大や移住促進のため、サイクルロゲイニングを開催しました。 今後も年間を通じた誘客につながることを期待します。
16	あなたの夢で人と人をつなぐ	一般社団法人Ori絲	ワークショップにより空き家を改修してシェアキッチンを整備し、起業を目指す地域住民等に貸し出すほか、地域の高齢者によるお惣菜屋や子どもカフェを開設し、食を介した交流と地域活性化を図る。 ①空き家DIYワークショップ講師謝金(60千円)、キッチン・トイレ等(833千円)、テーブル・椅子等(483千円) ②空き家DIYワークショップ資材費等(3,216千円)、スロープ設置(402千円)、キッチン備品(973千円)、水道工事(2,842千円)、建具造作工事(1,100千円)	9,909,509	4,303,000	食を通して人と人を繋ぐことを目標に、空き家を地域の人たちとDIYし、シェアキッチンに改修しました。 また、多くの世代の方に協力いただき、シェアキッチンを活用してのお惣菜づくりや子どもたちへの朝ごはんの提供を通じて、子育て世代をシニア世代が支える地域内助のつながりをつくりました。 食を通じた人と人のつながりが生まれ、新たなコミュニティの創出、地域で活躍する人材が増えることを期待します。

No	事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 (円)	うち支援金 (円)	講評
17	北アルプス地域材活用発信拠点推進事業	北アルプス森とつながる暮らし案内所	林業関係者、製材乾燥関係者、木材利用者等が連携して活動し、地域材の総合案内所となる拠点を設置することにより、地域材の活用・啓発を推進し、健全な森林環境の保全につなげることを目指す。 ①活動拠点設立(196千円)、オリジナル商品の開発・制作(146千円)、リーフレット、HP作成(824千円)、その他経費(1,438千円) ②陳列棚(154千円)	2,759,059	1,031,000	北アルプスエリアの豊かな森林資源を有効活用するため、林業関係者、製材乾燥関係者、木材利用者と連携し、活動拠点となるショップをオープンしました。 また、オリジナル商品の開発、販売を行うとともに、ワークショップの開催、Webサイトの開設を通じて、地域材の活用・啓発を推進しました。 関係者のつながりが深まり、北アルプス材の適切な活用につなげることを期待します。
18	白馬・山とスキーの歴史、伝統、文化継承事業	一般財団法人八方振興会	山やスキーの歴史、文化等を次世代へ継承していくため、小中学校の課外授業、地域での勉強会等で使用する解説資料を作成する。また、資料館に書架を増設し、地域の小中学生等の協力を得て、寄贈された書籍等の整理を行う。 ①資料作成(303千円) ②書架の増設(1,216千円)	1,518,200	1,153,000	白馬の山とスキーの歴史文化を後世に継承するため、地元中学生の協力のもと、書架の増設、書籍の整理を行うとともに、次世代向けの資料を制作しました。 郷土の歴史文化が次世代へ継承され、地域に対する誇りと愛着が深まることを期待します。
19	山とスキーの人材確保・育成研究事業	「白馬・山とスキーの人材確保と育成」研究会	高齢化・少子化により山とスキーに関わる人材が不足する中、地域住民や関係者の参加を得ながら、白馬村の山とスキーに関わる人材の確保及び育成の方法について検討する。 ①会場費(508千円)、資料作成(153千円)、講師謝金・旅費(185千円)、先進学校調査(108千円)	955,095	755,000	山案内人などの山岳関係の人材やスキー関係の人材の不足が深刻な中、人材確保育成に向けた新たな仕組みづくり構築のため、各業種の関係者が参加する検討会や講習会を開催しました。 検討会で得られた調査研究結果が、白馬村の山とスキーに関わる人材の確保及び育成に活かされることを期待します。
20	サイクリング環境向上事業	特定非営利活動法人 北アルプス自転車協議会	講習動画を制作し、自転車安全講習会を開催するほか、「思いやり1.5m運動」を実施し、自転車の走行ルール、走行マナー等を周知し、地域の自転車走行環境の向上を図る。 ①動画制作(628千円)、講習会開催(66千円)、ステッカー・マグネット制作(185千円)	878,940	703,000	自転車の走行ルール、走行マナー意識の向上のため、講習動画を制作し、制作した動画を活用して村内の小中高生や村民向けの自転車講習会を開催しました。 活動のエリアが北アルプス地域全域に広がり、地域全体で自転車の走行ルールやマナーが浸透し、自転車の走行環境が向上することを期待します。
21	「信州山小屋のおもてなし」推進事業	株式会社白馬館	登山中及び山小屋におけるマナー、留意事項等を紹介する動画を制作し、HPへの掲載、イベントでの上映等により、インバウンド客を含む登山者への安全・安心な登山の普及を図る。 ①映像制作費(4,290千円)	4,290,000	3,432,000	海外からの登山客のマナー意識向上のため、登山中や山小屋滞在中のマナーを網羅した映像(日本語、英語、中国語、韓国語)を制作しました。 海外からの登山客に日本での登山マナーが浸透し、国内外の方が安全にマナーを守って登山を楽しめる環境が整うことを期待します。
22	五竜とおみトレッキングコース再整備ボランティアプロジェクト	白馬五竜観光協会	関係者が高齢化する中、廃道状態となっている五竜とおみトレッキングコースをボランティアを募って再整備し、新たな観光資源の創出及びボランティア活動を観光の一環とする仕組み作りを目指す。 ①講師謝金(150千円)、機材購入費(89千円)、交流会費(43千円)、研修会(4千円)、交通費(125千円)	411,224	300,000	自然環境に配慮し、持続的に維持できる登山道整備のため、登山道整備の技法習得研修会を実施のうえ、登山道整備作業を行いました。 登山道整備活動の協力者が増え、持続的に維持が出来る登山道整備につなげることを期待します。
24	地域一体となった観光マーケティング活動及び国際山岳リゾートとしての観光誘客インフラの整備	一般社団法人 HAKUBA VALLEY TOURISM	白馬バレーにおけるグリーンシーズンの誘客等を推進するため、フォトコンテストや海外プロモーションを実施するとともに、エリア内の人流動態等を調査し、プロモーション戦略を構築する。 ①フォトコンテスト・写真展(1,299千円)、動態等調査(1310千円)、海外プロモーション(2,120千円)	4,728,641	3,782,000	大町市、白馬村、小谷村の自然・歴史景観に優れた24のスポットであるHakuba Valley八景を誘客素材とするフォトコンテストを開催しました。 また、インバウンド来訪者の人流調査を行い、地域の観光団体と共有しました。 通年型山岳リゾートの観光地域づくりとして、グリーン期の誘客基盤となることを期待します。

No	事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 (円)	うち支援金 (円)	講評
26	湯の郷白馬 活性化プロジェクト	一般社団法人白馬村観光局	温泉シンポジウムの開催、温泉チラシの作成により、地域住民、村内観光事業者等に白馬の温泉の特色をより深く知ってもらい、白馬の温泉の認知度向上及び温泉を活用した誘客を図る。 ①温泉シンポジウム開催(1,024千円)	1,023,722	675,000	村内の観光事業者に温泉について深く知ってもらうため、温泉シンポジウムを開催しました。村内観光事業者の温泉に対する関心が高まり、スポーツやアウトドアを楽しむ今までの客層とは違う客層が白馬村を訪れ、白馬村が目指す通年型のマウンテンリゾートの実現につながることを期待します。
27	農福連携による小谷村特産「小谷漬け」プロモーション	小谷村	農福連携により小谷漬けの原料を生産するとともに、新たな小谷漬けの商品を開発する。また、小谷漬けの知名度向上と販売促進に向けたプロモーションを行う。 ①原料生産(317千円)、新商品開発(418千円)、小谷漬け販売促進プロモーション(1,100千円)	1,834,600	1,211,000	小谷村内で昔から親しまれている「小谷漬」について、農福連携による、原材料の生産や新たな小谷漬の商品開発を行うとともに、販売促進のためのPR動画を制作しました。農福連携による農業の稼ぐ力の向上や生きがいづくりにつながることを期待します。
28	持続可能な草原の維持管理に係る事業	第14回全国草原サミット・シンポジウムinおたり大会実行委員会	第14回全国草原サミット・シンポジウムinおたり大会を開催し、人口減少・少子高齢化の社会における草原の維持・管理について、現状や課題を共有し、持続可能な方法を協議する。 ①基調講演等謝礼(1300千円)、チラシ・ポスター等印刷費(973千円)、ウェブ配信委託料(397千円)、会場等使用料(398千円)、事務用品(27千円)、その他経費(1,559千円)	4,653,021	1,015,000	茅場や牧畜など草原の持つ価値を再確認し、希少な草原の存在を全国に発信するため、第14回全国草原サミット・シンポジウムinおたり大会を開催しました。シンポジウムを通じて、小谷村の草原の価値を村内外の方が認識し、貴重な資源である草原が今後も維持されていくことを期待します。
29	大糸線利用促進事業	小谷村大糸線振興会議	スマートフォンゲームアプリを用いたデジタルスタンプラリー及び中土駅のシェアサイクルを通じて、大糸線の利用を促進する。 ①デジタルスタンプラリー(3310千円)、中土駅シェアサイクルの活用したスタンプラリー(157千円)	3,466,641	330,000	大糸線乗車時の楽しさを創出するため、スマートフォンアプリを活用したデジタルスタンプラリーを実施するとともに、ゲーム内のキャラクターとして大糸線をモチーフとしたキャラクターを制作しました。大糸線魅力向上への地域全体の取組が広く展開され、利用促進に繋がることを期待します。
30	塩の道古道コンテンツ強化事業	一般社団法人小谷村観光連盟	利用者が減少している塩の道にインバウンドの誘客を図るため、歩荷の衣装等を貸し出すサービスを行うとともに、塩の道上の史跡案内看板等を多言語に翻訳し、音声データを提供する。 ①衣装費一式(1,434千円)、音声解説等事業(178千円)	1,611,940	1,223,000	塩の道のインバウンド客利用者増を図るため、新たなコンテンツとして衣装のレンタルとQRコードを利用した音声ガイドを整備しました。塩の道の新たなコンテンツとして認知度が広がり、インバウンド客の増加につながることを期待します。
32	地域の自然資源活用と地域の魅力発信による女性の雇用創出事業	uni	女性の雇用の場の創出を図るため、マルシェに出店し、都市部の女性を対象に野草や里山の魅力を発信するほか、地域の野草とオーガニックハーブを活用した商品の開発・販売に取り組む。 ①マルシェ(371千円)、商品開発(99千円)	469,921	375,000	地域の自然資源と人的資源を活かし、収益が安定した女性の雇用の場を創出するため、小谷村の自然資源を活用した商品開発を行いました。また、販路拡大のため県外のマルシェへ出店しました。地域住民の雇用創出に繋がることを期待します。
33	小谷産「黒にんにく」生産事業	小谷赤にんにく生産組合	小谷村で古くから栽培されている赤にんにくの認知度向上及び生産者確保のため、その加工品である黒にんにくの販促に取り組む。 ①販促資材作成(406千円)	405,669	324,000	小谷村内において栽培されている「赤にんにく」の認知度を高めるため、赤にんにくを原材料とした、新たな村特産品「黒にんにく」を加工生産販売しました。小谷村の新たな特産品として認知度が高まり、販路が拡大することを期待します。

No	事業名	団体名	事業内容 ①ソフト事業 ②ハード事業費	総事業費 (円)	うち支援金 (円)	講評
34	北アルプス山麓新たな魅力ある体験メニュー開発・造成研究事業	食・農林業体験と農家レストラン・民泊等研究会	北アルプス地域の魅力を活かした体験メニューを研究・開発するため、検討会及び研修会を開催するとともに、開発した体験メニューを掲載した冊子を作成する。 ①検討会・研修会開催費用(233千円)、広報資材作製費用(400千円)、事務用品等(37千円)	670,037	470,000	北アルプス山麓地域における新たな体験メニューの掘り起こしのため、検討会、講演会を開催しました。 また、体験メニューに係る広報資材を作成し、旅行エージェントへ情報発信を行いました。 引き続き関係団体と連携し、情報発信を通じて、更なる学習旅行の誘致につながることを期待します。
35	北アルプス山麓育ち観光誘客事業	「北アルプス山麓育ちin首都圏」実行委員会	北アルプス地域への観光誘客を図るため、台湾や中京圏においてプロモーション活動を実施するほか、北アルプス地域でしか味わえない「食」を活用して観光振興を図るため、オリジナルスイーツの広報に取り組む。 ①台湾・中京圏プロモーション事業(3733千円)、スイーツプロジェクト(155千円)、HP制作(524千円)	4,393,194	2,700,000	昨年度に引き続き、台湾を海外プロモーションのメインターゲットとし、訪日教育旅行誘致、観光誘客のため、台湾の行政機関、学校等にてプロモーション活動を行いました。 また、スイーツプロジェクトにおいて認定された北アルプス山麓スイーツの販売会及び検討会を行いました。 今後も市町村と連携し、当地域の魅力を広く発信し、誘客及び地域活性化につながる取組となることを期待します。
36	北アルプス山麓ブランド活性化推進事業	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会	北アルプス山麓ブランド品の海外展開等を図るため、台湾において、物産展の開催、PR活動等を実施するとともに、米の消費拡大に向けた取組を行う。 ①広報活動費(245千円)、認定品PR促進費(371千円)、販路開拓推進費(244千円)	859,933	672,000	北アルプス山麓ブランドの海外展開として、台湾の日本食スーパー「裕毛屋」で物産展を開催するとともに、台湾に販路を持つ「(株)祐源」などとWEB等で商談会を開催しました。 また、北アルプス山麓地域で生産される農畜産物等のブランディングや認知度向上のための取組を実施しました。 引き続き関係団体と連携し、当地域の農畜産物等の魅力を広く発信することで、ブランド品としてさらに認知が広まり、販路拡大・販売促進につながることを期待します。